

# 参議院選挙（比例）、みずおか必勝を!!

# 日退教通信

No. 383

2019.7

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F  
 発行責任者 竹田邦明  
 TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081  
 Email nittaikyoo@gmail.com ホームページURL <http://www.nittaikyoo.com>

## 第48回日退教

### 定期総会 6月7日

日政連候補・みずおか俊一さんの挨拶

毎日、必死に頑張っています。全国各地を巡り、今週、47都道府県中46番目で岐阜を訪れました。

最後の栃木も来週中には行けると思っています。「同日選」の可能性もある中、アベ・アソウの「常識は通用しない・やりたい放題」で、与

### 西沢会長挨拶



「今日のこの総会を、来るべき参議院議員選挙に向けての総決起集会としたいと考えます。何としても与党の過半数割れぐらいにはもっていきたいし、三分の二は崩したい。そのため、

私たちの力で、日政連・みずおか俊一さんの当選を実現しましょう。

私たちの運動の基本は、先ず「アベのタイコモチ外交」から、同盟関係を中心とする「自立外交」へ、次に金融庁発表の「年金2千万円不足」ではなく、憲法通り「不足は国が補填する」こと、第3に学校現場における「無免許教員」状態をなくすことです。そのため、すべての会員が、各地でみずおか必勝に向けて頑張りましょう!



党もそれなりのリスクを負っている。マスコミのコメントーターから「今の野党ではなあ」の言葉が出るが、これも与党側の作戦の一つです。

とにかく皆さんのお力をかりて、「やることはやる」しかありません。現場では、超長時間労働、代替え教員もないという、クラスの担任がいらないという、定員内欠員が常態化しているという「社会的ひずみ」が学校に集中している現状を何とかしても打開しなければなりません。同じ教員出身の北海道選挙区・勝部候補とともに、これからも全力を尽くして、当選に向け、頑張ってください。

## 来賓紹介



日教組 岡島真砂樹委員長



地公退 足立則安副会長



退職者連合 人見一夫会長



生きがい支援協会 中村 謙理事長



相互共済会 草野秀一理事長



退女教 北村典子会長



教職員共済 泉雄一郎理事長

# 発言の概要

千葉県退教

平野直比古代議員



その中で、「みずおか」候補にも出席いただいた。多くの会員からは「あの人は人柄がいいね」「頑張ってほしいね」の声を頂いた。この無茶苦茶な政治を終わらせる意味からも、比例区は「みずおか」の当選を期して微力ながら、頑張っていきたい。

北海道退教

北島義久代議員



先ず、昨年の胆振道東部地震へのカンパに対して御礼を申し上げたい。あの地震では全道で停電が起こった。もし泊原発が稼働していたら、福島と同じようなことになっていたのではないかと思っている。

北退教は昨年度より十数名加入者が増えた。会員増のためには退職の時だけ声をかけるのではなく、現場の為に退職者が委員会等へ

働きかけをしたり、共に学習会を開いたりという日頃からの取り組みが大事である。また、北退教は高校生の平和大使への応援も積極的に取り組んでいる。

沖縄県退教

平安常清代議員



辺野古の問題に関し、長きにわたり日退教の役員、仲間の連帯とカンパを寄せられて、大きな励みとなりました。今、沖縄では辺野古問題を争点とする選挙は、全て勝っています。しかしながら、政府は沖縄の民意、基本的な人権、地方自治、民主主義を認めていません。辺野古へのダンプの土砂搬入阻止として、200〜300名いるとストップします。安倍政権を打倒しないと辺野古問題は解決しません。参議院選挙では、「仲

村みお・みずおか俊一」の当選を頑張って応援していきたい。

兵庫県退教

山名幸一代議員



我が兵庫の選挙区から2期12年間、日退教の方針にのっとり、日政連の組織内議員として「みずおか」さんは奮闘してきた。しかし、3年前惜敗した。現状の世論調査では、悪質政治の安倍政権の支持率は上昇。一方、立憲民主党は4%。この中心メンバーの「みずおか」の浸透が70%。また、退教では、「分かつているよ。選挙区は「みずおか」と書くよ」の厳しい状況。個人名記名が左右する比例区で、「みずおか」を当選させるにはどうすべきか、イロイロと知恵を絞って、「みずおか」当選を期して

頑張りましたよ。

新潟県退教

石野公久代議員



生きがい支援協会が解散することで、囲碁大会がなくなり、また、単会活動に年10万円の支援金がなくなることを大変危惧している。今後、それに代替するものをお考えいただきたい。

山口退教

塩田政博代議員



5月28日、防衛省は山口県と萩市と隣接の阿武町に、イージス・アシユアの候補地として適地と伝えました。



議長・斉藤泉(兵庫退)・小林勝彦(愛知退)代議員

千葉の館山の支部は会員が少ないが、様々な病気を抱えている会員は多い。そんな中、同じ仲間として、孤立を防ぐ意味から、定期的に家庭訪問なり、繋がりを持つことに努めている。その成果が、今年の支部総会の集まりにあらわれた。

しかし、この調査結果は住民の不安や怒りを増大させています。特に、阿武町では、町長が反対を表明し、全国に発信しています。県退教は、萩市の住民の会2名を講師として招き、学習会を開き、署名活動やさまざまな集会をして闘っています。無駄遣いと戦争の危機を煽り、住民を苦しめる、この配備計画に闘っていく覚悟です。

### 福島退教 住谷圭造代議員



昨年も日退教に現地視察ツアーを開催してもらった。実際に被災地を見て、全国にその実態を発信していく姿勢に感謝している。原発事故から丸八年が過ぎても一号から四号まで廃炉への進展がない。毎日四、五千人の労働者が被爆しながら働いている。

配布した「脱原発情報」を見てわかると思うが、双葉支部の浪江町ではほとんどが休校になっている。政府は避難解除をしたが、子どもたちが戻ってきていない。なぜこんな状況になったかをこれからも毎年発信していきたい。

### 福岡県退教 浦田哲也代議員



今回の会費引き上げについて発言します。本部へ意見書を出したのは福岡だけだと聞いております。1つは「適正化」です。2つは「納得感がない」です。この引き上げによって日退教の今後の推移が見えてこない。今後福岡は、緩やかな運動をせざるを得ない。身の丈に合った運動とメリハリをつけた運動の課題と整理をし、日退教も是非その方向でやってもらいたい。

選挙では、神本がお世話になりました。今度は水岡さんを全力で応援していきます。

### 神奈川高体協 早川芳夫代議員



世田谷区の国保の運営協議会の委員の立場から、市民学習組織を立ち上げた。その中で分かったことは、国保の運営が市町村自治体から県に移管したことで、国保の負担は今までは、均等割は30%強だったのだが、所得割50%、均等割50%になり、負担額が大きくなった。その結果、世田谷では未納率が20%強となっている。日退教・各単会も組織の課題として、興味関心を持ってもらいたい。

### 新潟県退教

山岸修代議員  
退教故に、社会的な課題



への関心は高い。だが、デモ、集会へは体力的に無理な会員が増加している。そんな中、今回、各種メディアへの長年培った、貴重な体験を投稿しようという運動方針に賛成。歪曲した政治を正すために、怒りをぶつけようと、先ずは、単会レベルで実践していく。日退教にもその具体化をお願いしたい。

### 秋田県退教 樋口新平代議員



秋田は山口と同様、イージス・アショアの設置県になっている。なぜ秋田と山

口なのかと考えると、山口は安倍首相の、秋田は菅官房長官の地元だからではないかと思える。設置への反対があってもなんとか乗り切れると高をくくっているのではないか。

予定地には近くに住宅も学校もある。しかも防衛省が提出した報告書に九カ所も誤りがあった。腹が立つて仕方がない。県民が一体となってこれからも反対の意思表示をしていきたい。

### 北海道退教

山根正子傍聴者



男女共同参画への活動について。北海道で女性の副会長枠を取り組んで三年経つが、なかなか達成できない。三年の中で、女性が企画の段階から中心にすることが大事だと学び、女性ネットワークを作り活動を進めている。両性で複数

の人がこの問題に関わることが必須だと思う。また男女共同参画は平和運動でもあると思っ  
ている。

### 役員選出に関する質問 福岡県退教 樋口けい子代議員



今回の役員選考に関して、どのような事情、内規、女性の参画率を上げていくのか、討議がなされたのか教えてほしい。今後の女性の参画率の方針を教えてください。

## 訃報

入澤稔副会長が逝去されました。

北陸ブロック（新潟県退）から選出されていましたが、4月10日に亡くなられました。

これまでの御活躍に敬意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 9・10月の全国集会

地公退高齢者集会	9月16日（祝）
退職者連合高齢者集会	9月17日（火）
五者学習会	10月10日（木）
組織活動交流集会	10月11日（金）

### 動画が 完成しました！

「みずおか俊一」の掲げる政策などに関する動画が完成しました。順次更新していきますので、左記のQRコードからご覧ください。



### ◆編集後記◆

2019年は、東西冷戦が終結し、イデオロギーに代わって、宗教、民族問題が争いの対立軸となり、グローバルズムと中国の台頭の30年目の年である。そして、今年は、米中の経済・軍事の対立が激化している。

しかし、スローガンのみの安倍政権は、トランプの下僕と化し、外交面では「蚊帳の外」に置かれている。また、国内的には、元号、天皇代替わりをメディアが煽った。10連休中に行った、電気自動車普及率日本一のある島でも、「レイワ記念セール」：など、新時代が到来したかのようなシャッター通り商店街であった。埼玉の高校現場では、「新元号」の発表の時間になると、テレビがある部屋に多くの職員が固唾をのんで集まり、発表されるや、ざわめき、拍手が沸いたようだ。天皇による「時の篡奪」であり、「主権在民否定」に万雷の拍手とは！

そして、5年後の新紙幣発行予告、天皇の代替わり騒動と続く。明治以降に意図的に作られた天皇の儀式をメディアは洪水のように流し、神聖化を策す。そして、トランプ来日騒動。その内実は農産物の大幅関税の引き下げの代償として、欠陥ステルス戦闘機を言い値で爆買した。農産物の関税引き下げを二つ返事で容認し、おまけにその発表を参院選後にするという国民愚弄の内容だ。

しかし、メディアは発せず、日米地位協定の東京の象徴である、六本木のヘリポート基地から、千葉のゴルフ場へ。そして、横須賀の専守防衛の否定の空母化予定の護衛艦「かが」での日米首脳の有様。今こそ、「教え子を再び戦場に送るな」を掲げて、東奔西走している我が日退教推薦の参議院予定候補「みずおか 俊一」の比例区での当選を期して奮闘しようではありませんか。（N）